

自作教具の活用事例

【作品名】 Viva 失敗カード ～失敗愛を育てよう～	【学校名】 日上市立大久保中学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動・ 失敗して自己否定感に陥っているとき	【制作者名】 鈴木 厚志
【制作の意図】 集団生活で上手くいかないときに SST を試みたが、「失敗した」という意識が強く自己否定感に打ちひしがれて SST を受け入れないことが度々あった。そこで SST を施す前に、少しでも自己否定感を軽くしようと「失敗は次はこのようにすればいい」を教え考えさせてくれる幸せに生活できるように必要な大切なことである、をテーマとしたカードを成作した。	【使用の方法】 ・集団生活の中でした失敗を気にして、自己否定感にさいなまれている→「心ゆっくり技」の中から「大きく深呼吸」「温かい握手で暖かい」を選択→「Viva 失敗カード」の中から類似しているカードをゆっくりと小声でよみあげる→生徒が顔をあげたら、SST を施す。
【制作上の工夫】 「失敗図鑑 すごい人ほどだめだった」大野正人著から表には偉人の失敗を貼り、裏にはその失敗からどう立ち直ったか、何を学んだか、次に失敗しないためにはどうしたらよいか等を貼ってカードにした。偉人だけではなく、身近な先生の失敗もカードにした。	【見取り図】 表面には偉人名、裏面にはどのような失敗があったのか具体的に記載する 表 人物名 裏 失敗例
【写真】 	裏には その失敗からどのように立ち直ったのか 何を学んだのか 次に失敗をしないためにはどうしたらよいか等も記入する。 それら全部を記入するのではなくて その偉人の失敗を自分だったらどうしよう と考えることも試みた。
【材料・材質・部品等】 ・「失敗図鑑 すごい人ほどだめだった」大野正人著 ・画用紙	【使用効果と応用発展】 まず失敗を読み上げて次に生徒にカードをめくらせて裏を生徒と一緒に読み上げて「心ゆっくり技」から「ドンマイハート」を提示した。生徒と「失敗愛」という造語も作りだして失敗を自己成長するために必要なものと認識 することができた。失敗による自己否定感とパニック状態を軽減することができた。